

青葉の詩

あおほのうた
第19号

菊陽町立菊陽南小学校
校長 渡邊浩文

今年もよろしくお願いします！ 三学期、無事スタート！

次の学年への助走が始まったっ！

一月九日（火）三学期がスタートしました。学年最後の学期、しっかりとまとめをすることが、次の学年への助走につながります。始業式の話から！

2018年、平成三十年の年が明け、新しい年が始まりました。一年の初めには、みんな目標を

立てたかな？

目標ができたってことは、それに向かって何かをがんばることなんだな。がんばることを、毎日続けることが大事なんですよ。

でも、毎日がんばろうと思って三日ぐらいしか続かないことがあります。これを何というの？

そつ、三日坊主、三日続けて四日目にはできなかった。…でもいいんです、三日坊主でも。また始めればいいことなんです。問題ありません。また始めれば続けたことになるんです。

だめなのは、できなかったところから、また始めようとしないうと。もうあきらめてやめてしまうことです。ちょっと休憩してもいいけど、ちょっと立ち止まってもいいけど、また一歩踏みだそうとすることが大切です。

今年の一月一日の朝は曇っていましたが、だから、初日の出は見る事ができませんでした。せっかく起きてきたのにと思ってしまいました。今年は、出足から躓いた

あ…でも翌日はとてもいい天気、きれいな日の出でした。たまたま元日が曇りだったのよね。一年365日のうち、曇りもあれば雨の日もある。

大事なのは、翌朝また日が昇って新しい一日が始まるってことだと思つのです。一月一日だけが特別ではない、私たちは毎日、毎朝、新しい一日に出会っています。

だから、昨日できなかったことを今日は気持ち新たに挑戦しよう。今日おろそかにしてしまつたことは、明日気持ちを入れ替えてがんばろう。

そつすることが、三日坊主ではなくなるのです。さあ、三学期です。あと三ヶ月

後には新しい学年になっていきます。

この三ヶ月で次の学年に上がる準備をして下さい。

ええ、準備ってなにすのかなあつて思ったでしょ。

まず、身体の準備です。

朝自分で起きる事ができない人！自分一人で、

起きられるようになって下さい。朝ごはんを食べてこないことがある人！毎日食べて下さい。ついつい、夜寝るのが遅くなつてしまふ人！寝る時間を決めて、さっさと寝て下さい。

「早寝、早起き、朝ごはん」ができるようになることが、体の準備につながっていきます。

次に頭の準備です。

今年習った漢字は、全部読めて書けるようになって下さい。

今年出てきた計算は、全部できるようにになって下さい。

今年習った事柄は、全部覚えておいて下さい。

ええ、無理だあと思った人！大丈夫です、忘れてもかまいません！

この学年であれやうたなあとか、あの頃あれ勉強したなあとかだったら、覚えていられるでしょ。それさえあれば、忘れたときは、あの学年のあの頃の教科書を見ればいいんです。

大事なのは、一生懸命学んだという記憶です。もう一度やるという気持ちです。頭の準備、お願いします。

最後は心の準備です。

今の学年で出会った人に感謝することです。

今年出会った先生に、ありがとうの気持ちを伝えて下さい。

今年出会った友だちに、ありがとうの気持ちを伝えて下さい。

とつ々の気持ちを伝えて下さい。

ええ、友だちは前の学年も一緒だし、次の学年でも一緒だけだなあと思った人！違います。

私たちは成長しています。去年とは違つし、来年もまた変わるのです。今年の私は今しかないし、今年のあなたも今しかいません。だから、今とにらにいる友だちは、今年出会った友だちなんです。来年は、成長して変わるのです。今年の友だちに、共に一年間過ごしてくれてありがとうの気持ちを伝えて下さい。

同じように、一番身近にいる自分の家族、親にも伝えて欲しいな、ありがとうの気持ちをね。

次の学年に向けた三つの準備、三学期がんばっていきましょう。毎日少しずついいから、続けていこう。それが「歩みつづける」ことなのです。

「夢と笑顔、歩み続ける南っ子」といった原稿だったのですが、話が行ったり来たり。五分ちよいの予定が、十分近くかかりました。それでも、子どもたちは集中してじっと聞いてくれました。じっとしていたのは、体育館が寒くて固まっていたわけではなく、人の話を聞く態度が、ずいぶんとできてきたのだと思います。ちょっと話

が長くなったかなと思いがちでも、しっかりと聞いてくれた子どもたち、去年からの成長を感じ、今年の飛躍を期待したところでした。

校長ナベちゃんのみちのくひとり旅日記 その10

昨年の中に完結を目指していたこの旅日記。またまた新しい年になってもおつき合いいただくことになり、申し訳ないというか、何というか…そんなこと書いてるスペースがあったらさっさと進んで！そんな声が聞こえてきそうですが、今年もしぶとく綴っていきます。昨年同様、さらっとお読みいただけたら幸いです。

釜石駅の前で看板の地図を見ながら明日の行程を確認していたら、携帯電話が鳴った。岩手県出身の大学時代の後輩からである。彼に連絡を取ろうと思いながら、旅に出る前に調べるのを失念していた。旅の途中で、東京在住の友だちに電話したら連絡先を教えてくれた。自宅に電話しても不在だったが、折り返し私の携帯に電話してくれるようお願いしていたのだった。卒業して一度会ったが、もう20年近く会っていない。大震災の後一度電話したが、それ以来声も聞いていなかった。

懐かしい声が聞こえてきた。今、釜石にすることを伝えたと、とてもビックリしていたが、すぐに明日の予定を聞いてきた。明日は三陸鉄道南リアス線で南下することを伝えたと、〈サカリ〉で待ってますという。目の前の地図で探すが見当たらない。自分は線路が続いている〈モリ〉までいくつもりだと伝えても、話がかみ合わないのだ。沿岸部を走っていた南リアス線は、津波でやられて大船渡市までしか運行していない。その終点は〈モリ〉なんだけどなあ、途中の駅にも〈サカリ〉などないぞ…電話の向こうとこっちで長年の疎遠を近づけようと努力しつつ(^_^;)。

地図を眺めていて、あれっここは〈盛〉!!駅名は漢字一文字『盛』。私はすっかり〈モリ〉と読んでいたが、正しい読み方は〈サカリ〉なのである。来てみないと分からないことがたくさんある!かくして二人の会話は一気に進展し、約20年ぶりの再会へときぎ着くことになった。(年度内には終了しなきゃ (^_^;) 続く…)